

水産研究課美波庁舎落成式

県北分室長 廣澤 晃

Keyword：落成式，研究・防災棟，マリンサイエンスゾーン

水産業を核とした地域の発展と、迫り来る南海トラフ巨大地震への対応を図るため、平成 27 年度から実施してきた水産研究課美波庁舎の改築・改修工事が平成 29 年 2 月に完了しました。平成 29 年 3 月 28 日に県議会関係者、市町長、市町議会関係者、漁業関係者など多数ご臨席を賜り、落成式を執り行いました。式典が終わった後、参加者に研究・防災棟の施設と「知と技の集積拠点『マリンサイエンスゾーン』」において連携する徳島大学、阿南高専、徳島科学技術高校の展示を見学していただきました。

また、落成式の後、地元の自主防災組織をはじめ、沢山の地域住民の方々に施設見学会に参加していただきました。



写真1. 飯泉嘉門徳島県知事，寺井正邇徳島県議会副議長，影治信良美波町長，久米順二徳島県漁業協同組合連合会代表理事会長，野地澄晴徳島大学長，寺沢計二阿南工業高等専門学校長によるテープカットの様子

1 階の魚類実験室，魚類飼育ヤード，藻類培養ヤードでは，放流用のアワビ稚貝の中間育成試験，アワビ種苗の餌「紅藻ミリンソウ」の大量培養試験，イ

セエビの畜養試験などを見学していただきました。(写真2)

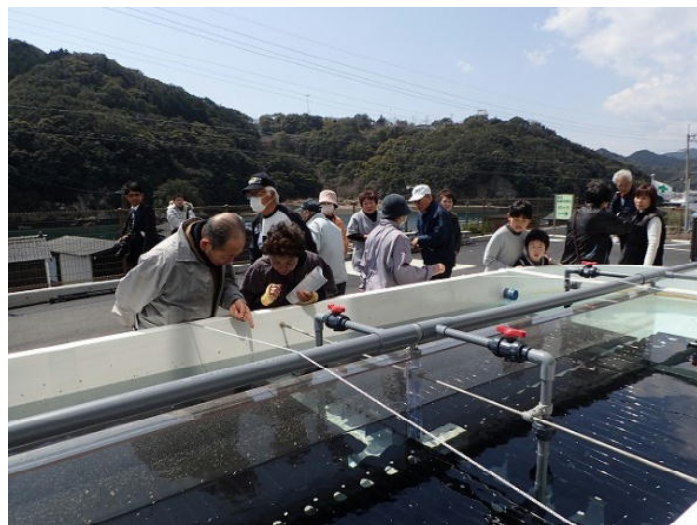


写真2. 巡流水槽で飼育されるアワビ稚貝を見学する地元の方々

2階に新設した6次産業化研究室では、地元の原料を使った「イカめし」や徳島科学技術高校によるマグロフレークなどのレトルト食品、未利用資源のタカノハダイなどを使った魚の干物、「美波の海の恵み研究会」による養殖ヒジキを使った「ヒジキチャーハン」などを試食いただき、大変好評でした。(写真3)



写真3. 6次産業化研究室での試食会

3階に新設したサテライト研究室では、徳島大学や阿南高専によるLED集魚灯と魚型ロボットなどの研究についての説明と展示、水研前の海岸では、マリンドローンのデモ飛行を実施しました(写真4)



写真4. サテライト研究室で徳大，阿南高専から共同研究の説明

2 階の生物研究室では，県南の暖かい海でも養殖が可能な高温耐性のあるワカメ類の品種の開発に関する研究について紹介しました。（写真5）



写真5. 生物研究室でワカメ類品種開発の説明

研究・防災棟は，地震に伴う津波発生時に緊急的・一時的に避難するための津波避難ビルとして利用できることとしているため，地元自主防災組織及び住民の皆様にも施設を見学していただきました。研究・防災棟は，屋上が海拔 18 mあり，予測される津波の最大波高 9.8 mに対して十分な高さが確保されていること，屋上に上水高架水槽，3 階に自家発電装置を設置し，非常用の飲料水と電源を確保していること，また，美波町も 3 階に飲料水，食料，毛布を備蓄していることを知っていただきました（写真6）。



写真6. 研究・防災棟屋上に集う地域住民の方々

最後に

水産研究課美波庁舎は、県南地域の水産業の課題解決や儲かる漁業を実現するための新たな研究開発に取り組み、県南地域の漁業振興の拠点として、また、発災後の水産業 BCP の拠点として新しく生まれ変わりました。地域に開かれた研究施設として、これまで以上に地域の皆様の声を聞き、頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。